

第 35 回 ASE 研究会実施報告

埜 敏博

東京大学情報基盤センター

東京大学情報基盤センターASE (Advanced Supercomputing Environment) 研究会は内外からの講演者を招いて不定期に開催している。

2018年3月5日(月)に実施された第35回ASE研究会¹では、招待講演者として、米国Lawrence Berkeley国立研究所からScott B. Baden博士をお招きして、プログラミング言語やMPIアプリケーションの再構成といった観点での、通信コスト削減や通信隠蔽手法について、ご講演いただいた。学内外から合計7名の出席者があり、活発な議論が行われた。

表1 プログラム

時間	講演者	題目
13:00-13:05	Kengo Nakajima (The University of Tokyo)	Welcome & Opening
13:05-14:05	Scott B. Baden (Lawrence Berkeley National Laboratory / University of California, San Diego, USA)	How to reduce and tolerate communication costs
14:05-14:10	Toshihiro Hanawa (The University of Tokyo)	Closing

¹ <https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/events/ase/35/35.php>